

## 5月18日開催の全国知事会議についての記者会見概要

- 【日 時】 平成21年4月16日（木） 11：43～11：52  
【場 所】 都道府県会館6階 知事室  
【件 名】 5月18日開催の全国知事会議について  
【出席者】 麻生全国知事会会長  
            蒲島熊本県知事  
            中川全国知事会事務総長

### （事務局）

ただいまから、5月18日開催の全国知事会議についての共同記者会見を始めさせていただきます。

本日は、麻生知事会長及び会長選挙管理者の蒲島熊本県知事が出席しております。

配付資料は、全国知事会会長の選挙についてであります。

それでは、まず、麻生会長からお願いいたします。

### （麻生全国知事会会長）

会長の任期が5月22日です。我々は会長については、選挙をする。選挙によって選んだというルールになっている。従って、それ以前に選挙で選ばなければいけない。このためだけではないですが、5月18日に全国知事会議を予定しています。そこでの1つの点は、正式に会長を選ぶということになります。

会長選挙の手続きですが、選挙管理者を会長が指名するということになっている。選挙管理者に蒲島熊本県知事を指名しました。蒲島知事の前で選挙管理が行われるわけです。今後の具体的な手続きを決めていただきましたので、選挙管理者の方から中身の話しをしていただきたいと思います。

### （蒲島熊本県知事）

この度、麻生会長より会長選挙に関する事務を管理するための選挙管理者に指名されました。本日速やかに、会長選挙の実施等、それに関する通知を送る予定です。

会長候補者の要件は、都道府県知事の5名以上の推薦が必要です。なお、推薦届け出の期間は、5月11日（月）正午とする予定です。皆さんのお手元にある資料にありますように、投票日は5月18日、候補者推薦手続期間は、4月22日から5月11日正午までとしております。以上です。

<質疑応答>

(記者)

麻生会長は、5月に行われる会長選挙にどのような姿勢で望むのか聞かせてください。

(麻生全国知事会会長)

まだ、どうするか決めてない。

(記者)

いつ頃までに会長選挙に出るかどうか判断しますか。

(麻生全国知事会会長)

いつ頃までね……。ぎりぎりは5月の11日か。知事会の中がどういう雰囲気か。課題をどういう風に、認識・発表していくか。知事会内部の運営をどうするか。いろんな状況を考えながらやっていかないといけない。

これは、誰が会長になっても同じ問題を抱えられると思います。

(記者)

関連ですが、麻生会長は、今度の会長選挙は選挙になった方が望ましいと思いますか。

(麻生全国知事会会長)

本来、選挙になるのが望ましい。

(記者)

先ほど、知事会の雰囲気という話がありましたが、周りの状況が許せば、麻生知事ご自身は、立候補も辞さないですか。

(麻生全国知事会会長)

雰囲気次第です。

(記者)

例えば、麻生会長を推薦したいという方がたくさん現れた場合、その場合はどうしますか。

(麻生全国知事会会長)

知事会の中で今後どういう方の考え方の元に、知事会活動やっていこうという強い意志

の形成というのが、本当にできていくのかどうかという点を、やっぱり確かめていくべきかと思います。

今日もいろいろ議論になった。いろんなたぐさんの委員会を作ってやっているけれど、実際には、知事さん達はなかなか出てこれない。こういうことがいっぱいある。一方では、そんなこと言っても地元でいろいろとあり、そう簡単に出てこれないんだという議論になります。

そういう中で、ここ2、3年は大事です。地方分権改革推進委員会の最終的な勧告ができて、具体的に分権一括法を作っていかななくてはけません。今の直轄事業をどういう風に思い切った改革にしていこうかということもあります。

それよりも何よりも、財政問題が非常に今窮乏してしまっていて、財政問題を長期的に考えてどうするのかと。我々は、地方消費税を確立してやっていきますが。

しかし、今程度の運動では、そういう実現はおぼつかないということも含めて、非常に今、社会保障制度の改革がいろいろあります。知事会活動は非常に多面というか、多方面作戦を同時にやっているんだという状態ですから、これは知事会がしっかり結束してやっついていかないといけない。そういう条件が、本当に達成できるかどうかそう思っていますが。

—以上—